

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成28年度】

( ⑤その他の施設 )

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市健康ふれあい館(大東温泉シートピア)			担当課名	観光交流課
区分		内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市健康ふれあい館条例				
	(2)施設設置目的	地域産業の振興並びに市民の健康増進及び福祉の向上を図るため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	温泉館/延床面積2,353㎡ 鉄筋コンクリート一部鉄骨造 大浴場・露天風呂・ハーブ湯・サウナ・水風呂・温水プール・子供プール・家族室 物産館/延床面積 428㎡ 鉄筋コンクリート造 物産販売				
	(4)施設建設年度	平成10年度				
	(5)耐震性能の有無	あり				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	円形ドーム改修工事(平成30年)			プール天井及び空調改修工事(平成30年度以降)	
		外装塗装工事(平成30年度～35年度)				
		内装塗装工事(平成30年度～35年度)				
		鋼製建具改修工事(平成30年度～31年度)				
	(7)指定管理者名	株式会社ユアーズ静岡				
	(8)指定期間	平成28年4月1日 から 平成33年3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし ※設定ありの場合、(期間 平成28年度～平成32年度) (限度額 136,000千円)				
	(10)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(12)その他事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成28年度)					
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考
(1)施設利用者数	(目標値)	210,429	220,000	215,033	219,301	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
	(実績値)	210,429	198,404	179,002		
内訳(施設・設備ごと)	温泉館	210,429	198,404	179,002		
(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
2 利用状況 (施設・設備ごと)	温泉館 (定員 人)	A平日昼間	76.2%	75.3%	75.0%	10時～17時入館者÷1日の入館者数×100
		B平日夜間	23.8%	24.7%	25.0%	17時～21時入館者÷1日の入館者数×100
		C土日祝昼間	77.9%	78.1%	76.0%	10時～17時入館者÷1日の入館者数×100
		D土日祝夜間	22.1%	21.9%	24.0%	17時～21時入館者÷1日の入館者数×100
	(定員 人)	A平日昼間				
		B平日夜間				
		C土日祝昼間				
		D土日祝夜間				
	(定員 人)	A平日昼間				
		B平日夜間				
		C土日祝昼間				
		D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		(公財)掛川市生涯学習振興公社	(公財)掛川市生涯学習振興公社	(株)ユアーズ静岡	(株)ユアーズ静岡	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		437	366	438			
	(3)運営日数		311	291	306			
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	3.0	2.0	2.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
②臨時職員		18.0	20.0	32.0	30.0			

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	52,172,184	48,040,359	45,150,566	50,881,000	※予算額は包括協定書事業計画書による
	②印刷費	0	76,032	0	0	
	③通信費	659,162	678,467	383,508	672,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	39,800	34,280	0	4,100,000	
	⑤借上料	9,418,634	8,696,814	5,450,501	9,042,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	24,269,264	11,242,105	16,767,862	24,944,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	5,481,567	3,937,542	10,726,702	62,909,000	
	計	92,040,611	72,705,599	78,479,139	152,548,000	
	対前年度増減率		△ 21.0	7.9	94.4	
区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	19,930,894	18,847,978	12,348,774	18,117,000	
	清掃業務	3,024,000	3,024,000	3,888,000	18,117,000	H29…外注費全体の金額
	防犯警備費	461,376	461,376	421,200		
	消防放送設備点検	380,160	380,160	306,180		
	合併処理槽維持管理	2,772,802	2,772,802	2,730,000		
	ポンプ、受水槽点検	961,200	961,200	961,200		
	源泉ポンプ保守点検	181,440	181,440	183,600		
	その他業務委託	12,149,916	11,067,000	3,858,594		緑地管理等
	②修繕費	5,465,304	5,300,167	3,662,588	5,686,000	
	③光熱水費	48,546,877	40,456,148	36,987,984	51,005,000	
	④燃料費	171,340	240,854	154,203	178,000	
	⑤清掃費					※管理委託費に含む
	⑥保守点検費					※管理委託費に含む
	⑦その他(施設消耗品)	5,340,939	5,137,819	4,489,339	5,448,000	
計	79,455,354	69,982,966	57,642,888	80,434,000		
対前年度増減率		△ 11.9	△ 17.6	39.5		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		171,495,965	142,688,565	136,122,027	232,982,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		53.7	51.0	57.7	65.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		97,501,996	75,707,286	77,958,088		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		105.9	104.1	99.3		

III 収支差額の状況

注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設利用料金収入	97,501,996	75,707,286	77,958,088	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( a-トータルコスト)	△ 73,993,969	△ 66,981,279	△ 58,163,939	
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)	63,400,000	69,918,492	27,200,000	

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 自主事業の収入	475,200	530,550	2,734,170	
b) 自主事業の支出	472,140	483,884	0	
収支差額 a) - b)	3,060	46,666	2,734,170	
c) その他事業の収入	95,989,732	86,222,346	57,506,726	飲食・物販事業売上収益
d) その他事業の支出	96,216,810	86,880,249	31,561,225	飲食・物販事業支出
収支差額 c) - d)	△ 227,078	△ 657,903	25,945,501	

## IV 担当課による評価

## (1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	2	【達成できていない点・主な課題】 ・健康増進及び福祉の向上の部分について、計画が具体的に行われていない。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・計画が可能か否かを検証させる。また、新たな顧客獲得を目指し自主事業等に力を入れてほしい。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

## (2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 &lt;達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点&gt;

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%	47%	0	【達成できていない点・主な課題】 ・塩素臭でくしゃみ、鼻水が止まらないという苦情が多かった。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・29年度に臭いがなく、塩素より殺菌効果のあるモノクロラミンの導入を進める。
B サービス内容の満足度	90%	41%	0	【達成できていない点・主な課題】 ・食事に対する苦情が多い。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・29年度にメニューや仕入れ等を見直すように指定管理者に申し入れ、味や見た目等のチェックを行う。
C 従業員対応の満足度	90%	50%	0	【達成できていない点・主な課題】 ・お客様からは従業員が少ないのではという声がある。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・29年度にマルチジョブシステムが機能しているか検証したい。
D 施設安全対策の満足度	90%	43%	0	【達成できていない点・主な課題】 ・塩害、風害、老朽化により、施設全体的に痛んでいる箇所が多い。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・28年度に立てた改修計画基本設計に従い修繕を行いたい。
E 美観・清潔感の満足度	90%	48%	0	【達成できていない点・主な課題】 ・塩害、風害、老朽化により、施設全体的に痛んでいる箇所が多い。お客様から清掃をしっかりとってほしいという声がある。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・28年度に立てた改修計画基本設計に従い修繕を行いたい。日々の清掃作業を再度見直すよう指導する。
F 施設の利用者数	215,033人	179,002人	2	【達成できていない点・主な課題】 ・配管破裂等により休館を余儀なくされた期間がある。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・施設の老朽化により修繕が必要な箇所が多いため、計画的に修繕を行いたい。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

## (3)収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・特になし 【いつまでに、どのように対応するか】 ・特になし
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

## (4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設の老朽化が激しく、各所に故障、腐食、劣化がある。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・28年度に立てた改修計画基本設計に従い修繕を行いたい。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

## (5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・国安区財産管理委員会への約一千万円の借地料 【いつまでに、どのように対応するか】 ・借地料を市で支払っている限り、行政の関与が必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

## (6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	1	【達成できていない点・主な課題】 ・現場職員と本社上層部との経営方針の違い。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・円滑に施設の運営が行われるよう指導する。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計 12 / 33

## V その他自由意見

--